

令和2年10月13日 午後7時～
笠原小学校 会議室
多治見市教育委員会 教育推進課扱い

第2回 多治見市笠原幼保小中一貫教育研究会

次 第

1 前回のおさらい

- (1) 小中一貫教育校の3類型
- (2) 義務教育学校とは
- (3) メリットとデメリット

2 笠原校区として考えてみる

- (1) 一般的なデメリットは笠原校区においても同様であるのか
- (2) 18年目を迎える笠原校区幼保小中一貫教育推進協議会での活動成果
- (3) 英語、道徳、読書といったこれまで培った笠原の財産
- (4) 今日指している子ども像、教師像、学校像とその未来
- (5) 郷土愛や変化への想いに対する尊重
- (6) 子ども、保護者、地域、学校、行政での連携と協働

3 笠原校区における義務教育学校の有効性について

4 笠原の未来の学校を項目ごとに考えてみる

- (1) 学年区切りについて
- (2) 多彩で内容の深い授業について
- (3) 異学年交流について
- (4) インクルーシブ教育について
- (5) ICTを活用した情報教育について
- (6) 地域拠点としての学校について

5 コロナ禍をふまえた笠原の未来の学校について考えてみる

6 その他

- (1) 学校長より
- (2) 事務連絡

7 次回以降の研究会の開催日について

- (1) 第3回：11月10日（火）午後7:00～ 笠原小学校会議室
議 題：新しい教育目標や合言葉を作るとしたら
幼保小中の連携について
これまでの内容統括（中間報告書の作成） 等

- (2) 第4回【委員を増員しての拡大研究会】
期 日：未定（12月 日（ ）午後7:00～ 笠原中学校）
議 題：これまでの研究結果報告
資料による他市の事例研究
今後の研究会のスケジュール 等